

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-80631

(P2021-80631A)

(43) 公開日 令和3年5月27日(2021.5.27)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
EO2D 3/10 (2006.01)	EO2D 3/10 1 O 1	2 D O 4 3
EO2D 3/08 (2006.01)	EO2D 3/08	2 D O 4 6
EO2D 27/34 (2006.01)	EO2D 27/34 Z	

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2019-206040 (P2019-206040)	(71) 出願人	390001993 みらい建設工業株式会社 東京都港区芝四丁目6番12号
(22) 出願日	令和1年11月14日 (2019. 11. 14)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
		(71) 出願人	502080047 キャドテック株式会社 福岡県福岡市博多区沖浜町12-1
		(74) 代理人	110001807 特許業務法人磯野国際特許商標事務所
		(72) 発明者	足立 雅樹 東京都港区芝四丁目6番12号 みらい建設工業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 竹製ドレーン材および液状化対策工法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 比較的簡易かつ安価に地盤の液状化を抑制することを可能としたドレーン材、並びに液状化対策工法を提案する。

【解決手段】 竹製ドレーン材 1 を少なくとも液状化層 G 2 , G 4 に到達する深さまで埋め込む液状化対策工法である。このとき、複数の竹製ドレーン材 1 を束ねた状態(竹束 3)で地中に埋め込む。また、竹製ドレーン材 1 には、液状化層 G 2 , G 4 に面する部分に、竹製ドレーン材 1 の内外を貫く排水孔を形成し、竹製ドレーン材 1 の各節に貫通孔を形成する。また、竹製ドレーン材 1 内には、粒状の充填材を充填する。さらに、竹製ドレーン材 1 は、竹の幹からなる複数のドレーン構成材を軸方向に連結して所定の長さ形成する。

【選択図】 図 1

